



菖蒲祭奉納演武大会 (1997年5月11日) の記事  
〔「合気道探求」14号より抜粋〕

日本国内を見渡しても、こうした由緒ある神社で稽古が行われている例は決して多くありません。鶴岡八幡宮様の長きにわたる御支援助と、道場を支え、その発展に力を尽くされた多くの方々の御努力に改めて感謝申し上げます。

演武大会での御指導をお願いしております。

丸道主入神後は植芝守中央合気会道主に顧問師範として奉納

後には植芝吉祥丸二代目道主に顧問師範に御就任頂き、吉祥丸道主入神後は植芝守中央合気会道主に顧問師範として奉納

稽古に励む大きな道場として成長致しました。

大な御努力により運営されてきた少年部は、すでに次の世代が先生として指導を行っており、また五十人以上の子供達が稽古に励む大きな道場として成長致しました。

その後曾禰益会長の下鎌倉市合気道連盟として登録、大塔宮境内などでも演武を行っていましたが、開祖・植芝盛平先生が鎌倉までお越し下さり、鎌倉警察署で御指導下さったことがあるということです。この頃はまた研修道場が建設される前でしたが、鶴岡八幡宮様に深く遥拝をなさってくださいました、と伺っております。

# 鶴岡八幡宮 研修道場 二十五年



山口清吾本部師範の演武。受けは武田師範  
(1973-74年頃、日比谷公会堂)



現在では三百人を超える参加者にお集まり頂いている奉納演武大会は、それより以前、昭和三十九年に始まりました。当時、野中日文先生（現合気会宮崎県支部支部長）が設立した△△の出発点である鎌倉笹目道場にて、山口師範の指示のもと武田師範が指導を行われておりましたが、そちらで同様に稽古をされていた鎌倉柔道クラブの春藤春光先生の御尽力により、八幡宮境内棧敷（舞殿横）での柔道大会に参加、演武を行ったのが始まりと伺っております。この笹目道場には山口師範も毎週指導に見えられ、人が少ない時でも先に掃除をして待っていて下さったということです。また、植芝吉祥丸合気会二代目道主が鎌倉までわざわざお越し下さり、御指導頂いたことも多いと聞いております。

その後曾禰益会長の下鎌倉市合気道連盟として登録、大塔宮境内などでも演武を行っていましたが、開祖・植芝盛平先生が鎌倉までお越し下さり、鎌倉警察署で御指導下さったことがあるということです。この頃はまた研修道場が建設される前でしたが、鶴岡八幡宮様に深く遥拝をなさってくださいました、と伺っております。

研修道場建設から二十五年、この間武田師範をはじめとして制野先生、鈴木康由先生、高橋先生、武田聡先生、そして沼田先生、鈴木猛先生、武田大雄先生と多くの先生方が指導に携わり、合気道科の発展に力を尽くされてきました。また、大川先生や矢島先生、金先生など、門人の方々の絶大な御努力により運営されてきた少年部は、すでに次の世代が先生として指導を行っており、また五十人以上の子供達が稽古に励む大きな道場として成長致しました。

後には植芝吉祥丸二代目道主に顧問師範に御就任頂き、吉祥丸道主入神後は植芝守中央合気会道主に顧問師範として奉納

演武大会での御指導をお願いしております。

日本国内を見渡しても、こうした由緒ある神社で稽古が行われている例は決して多くありません。鶴岡八幡宮様の長きにわたる御支援助と、道場を支え、その発展に力を尽くされた多くの方々の御努力に改めて感謝申し上げます。